

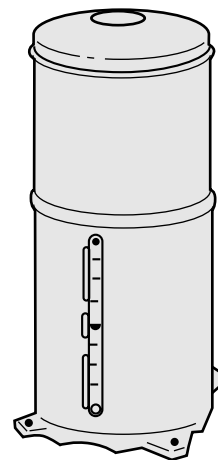
日立除菌器

CS-20NS形

このたびは日立除菌器をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正
しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大
切に保存してください。



もくじ

取り扱いについて

	ページ
安全上のご注意.....	2
仕様.....	4
各部の名称と使いかた.....	5
使用上のご注意.....	6
薬液と錠剤の取り扱いについて.....	6
カルキ量の調整と日常管理について... 7	
水質検査について.....	11
故障かな...と思ったら.....	11
保証とアフターサービス.....	12

据付工事について(販売店様・工事店様用)

	ページ
工事をされる方へお願い.....	13
据え付け前の確認.....	13
据え付け時のご注意.....	14
配管工事について.....	15
配線工事について.....	16
運転について.....	18
カルキ量調整・ 薬液の補給周期の技術資料.....	19
ご使用者様へのご説明.....	20

日立除菌器 は、ポンプでくみ上げた井戸水に薬液（次亜塩素酸ナトリウム）を注入して、一般細菌や大腸菌群を除菌する機器です。

次亜塩素酸ナトリウム とは.....水酸化ナトリウムに塩素ガスを通じて作った液状の塩素材で水の消毒などに用いられています。取り扱いが簡単で危険が少ないので、小規模の簡易水道や団地水道、プールなどの消毒に広く用いられています。（用廃水事典；産業用水調査会より）



据え付けは専門工事が必要ですから販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。

安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告



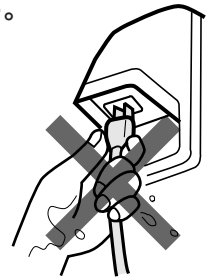
分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



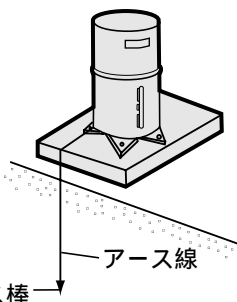
ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず結線しているポンプの電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切る。
また、ぬれた手で抜き差ししない。
感電やけがをすることがあります。



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。



禁止

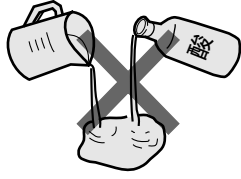
カバーを外したまま使用しない。
ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。

警告



薬液（次亜塩素酸ナトリウム）を酸と混合させない。

禁止 有害な塩素ガスが発生します。



配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

配線工事 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。

禁止 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、すぐに結線しているポンプの電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い上げの販売店に必ず点検・修理を依頼する。

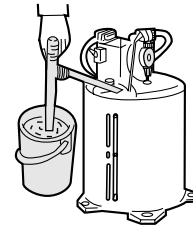
感電や漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。



薬液補給

薬液は空になる前に補給する。

薬液がないと除菌できません。また、薬液がない状態での運転は、部品が劣化し故障の原因となりますので、早めに補給してください。



注意



薬注器に毛布や布などをかぶせたり、カバー内に燃えやすいものを入れない。

禁止 過熱して発火することがあります。



カバーの上に物を載せたり、人が乗ったりしない。

禁止 変形・脱落によりけがをする恐れがあります。



設置場所

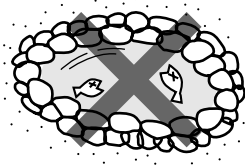
薬液が漏れた場合、周囲に影響を与えない場所に設置する。

動物・植物への大きな被害につながる恐れがあります。



養魚用には使用しない。

禁止 残留塩素が魚に悪影響を与えます。



安全上のご注意（続き）

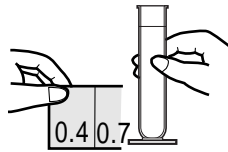
⚠ 注 意



毎日、使用前に残留塩素（カルキ）の量と薬液槽の残量を確認する。

使用方法

井戸水の水質や揚水量の変化により残留塩素量が変動したり、薬液が注入されないと体に害を与える恐れがあります。

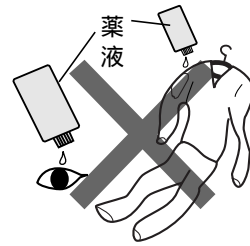


禁止

薬液を体や衣服に付着させない。

炎症をおこす恐れがあります。（万一付着したときは、すぐ水洗いし、症状がひどい場合は、医者に見せてください）

衣服に付着させると色があせる恐れがあります。

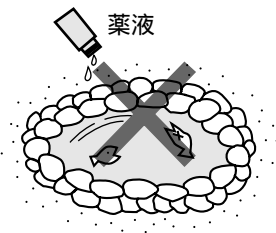


薬液を捨てる際には、必ず希釈してから下水に捨てる。

薬液処理

池や川などに流しますと、魚などに悪影響を与えます。

植物などにかけて枯れる恐れがあります。

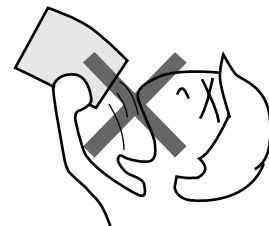


保管

薬液、錠剤、比色板は小児の手の届かない冷暗所に保管する。

薬液や錠剤を飲用すると体に害を与える恐れがあります。

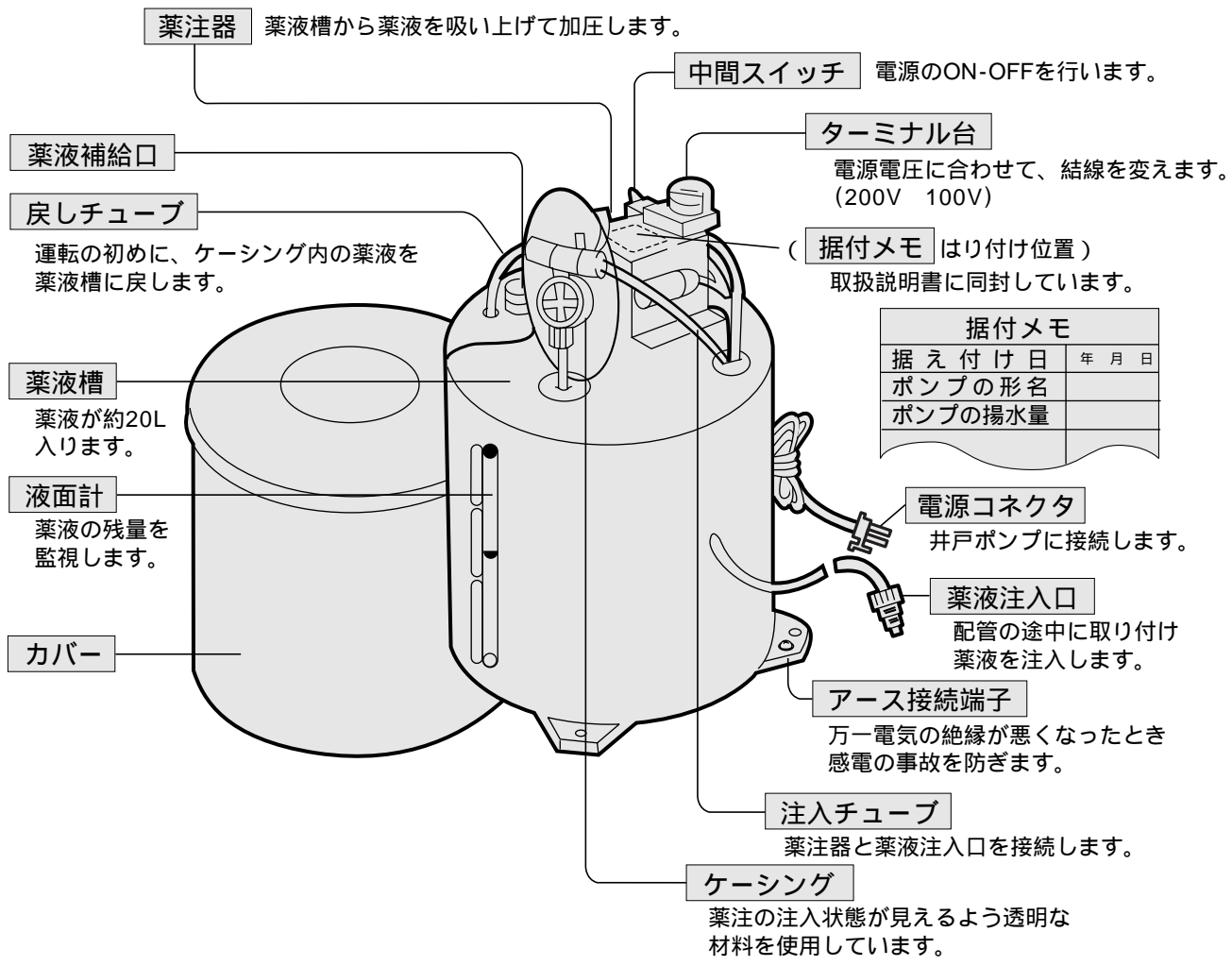
比色板を屋外に放置した場合、変色して正確に比色できなくなる恐れがあります。




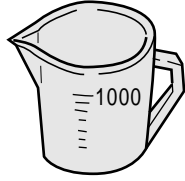
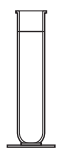
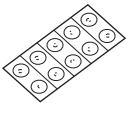
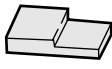
仕 様

定 格 電 圧	100Vまたは200V		最大除菌処理水量	300L/min
定 格 周 波 数	50Hz	60Hz	薬 液 槽 容 量	20L
定 格 消 費 電 力	25W	22W	使 用 薬 液	次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素5%)
注 入 量	4～16mL/min		製 品 質 量	10.5kg
最大使用圧力	300kPa		付 属 品	ホースポンプ、カルキ量測定器、計量カップ

各部の名称と使いかた



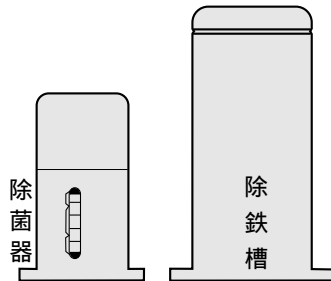
付 属 品

ホースポンプ 1本	計量カップ 1個	カルキ量測定器 1式
<p>薬液を薬液槽に補給するとき に使用します。</p>  <p>使用後は水洗いして保管し、 他の用途（灯油用など）に は使用しないでください。</p>	<p>薬液をうすめるときに使用し ます。</p>  <p>1L用 (1000mL用)</p> <p>使用後は水洗いして保管し、 他の用途には使用しないで ください。</p>	<p>蛇口でのカルキ量を簡易的に 測定します。</p>  <p>試験管：1本 (キャップ付き)</p>  <p>錠剤：100錠</p>  <p>比色板：1枚</p>

使用上のご注意

据え付け前後、および定期的に保健所で水質検査をしてください。

鉄分が含まれているときは、日立除鉄槽と組み合わせてください。

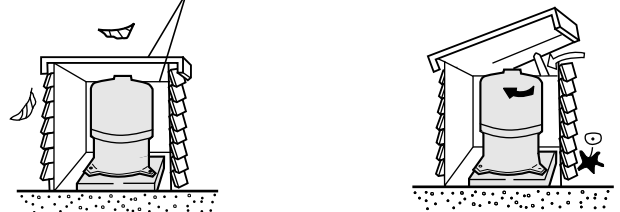


ご注意

井戸水の水質が変化する場合がありますので、定期的に水質検査をしてください。

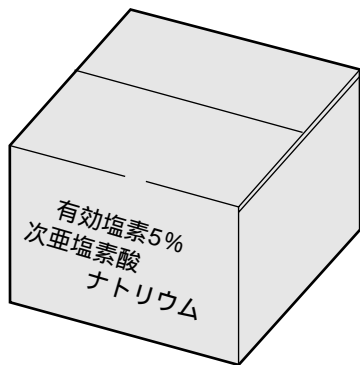
冬期には必ず凍結防止策を行ってください。

冬には防寒（内張り（フェルト・段ボールなど））夏には換気



薬液と錠剤の取り扱いについて

薬液(除菌器用次亜塩素酸ナトリウム)は、除菌器をお買い上げの販売店などでお求めください。



有効塩素5%以外の薬液は使用しないでください。

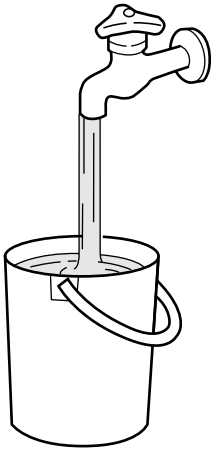
サンラック®
有効塩素5% (20kg入)
本町化学工業(株)
電話(03)3434-5281

カルキ量測定器の錠剤は、別売部品として設定していますので、無くなりましたら販売店でお買い上げください。

カルキ量測定器：WJ-S（100錠入）

カルキ量の調整と日常管理について

1 ポンプ揚水量の確認

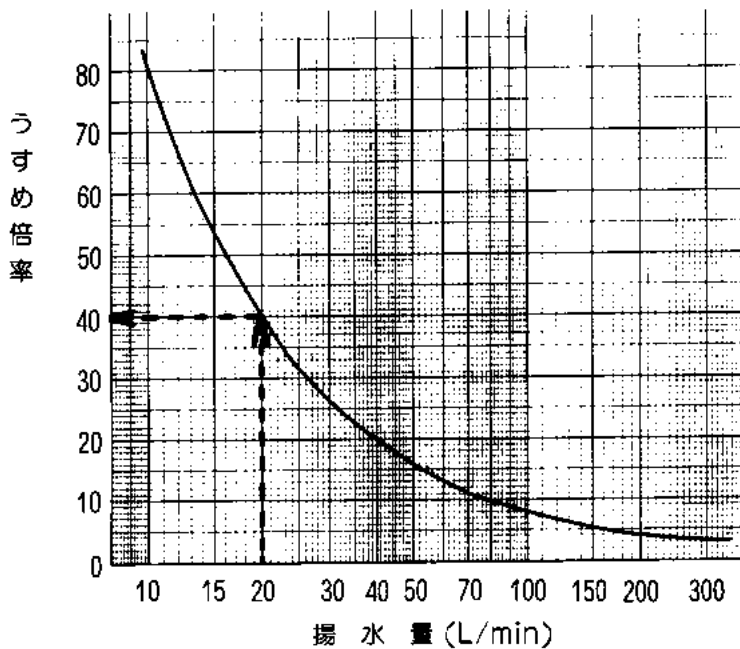


- ① 蛇口を全開にします。
同時に使用される可能性が高い蛇口(例えば風呂場と台所)はすべて全開にします。
- ② バケツなどを使用して、1分間当たりの吐水量を測定します。

目盛がわからない場合は、付属の計量カップを利用してバケツに印をつけ、測定してください。

$$\text{ポンプ揚水量(L/min)} = \left[\text{吐水量(L/min)} / \text{1個の蛇口} \right] \times \text{同時に開放した蛇口の数}$$

2 薬液のうすめ倍率の決定〔目安〕



ポンプの揚水量からうすめ倍率を決定します。

例 揚水量が20L/minの場合、うすめ倍率は40倍となります。

ご注意

グラフのうすめ倍率は清水(不純物を含まない)のときの値を示したものであり、所定揚水時の最高倍率を示した目安です。

有効塩素の消費量は井戸水の成分により大きく異なりますので、ご使用の井戸水の成分に応じた倍率決定をする必要があります。最終的には「**6** 試運転とカルキ量の調整」(9ページ参照)に示す蛇口での有効塩素量(カルキ量)が0.4~0.7mg/Lになるように倍率を決めてください。

井戸水の成分は地域、季節により異なります。

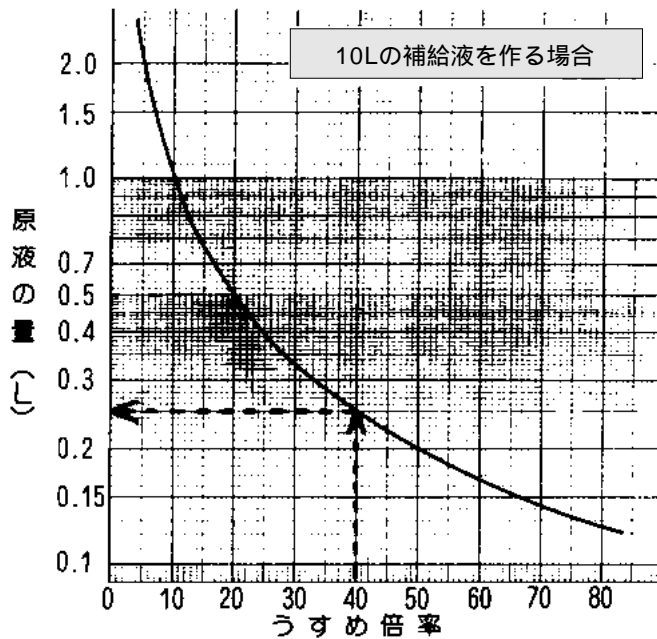
井戸水の成分によりグラフに表わす倍率の(1/2~1/4)倍になる場合がありますのでご注意ください。

備考 一度決めた倍率は「**4** 薬液の補給」(8ページ参照)のうすめ薬液の基準となります。

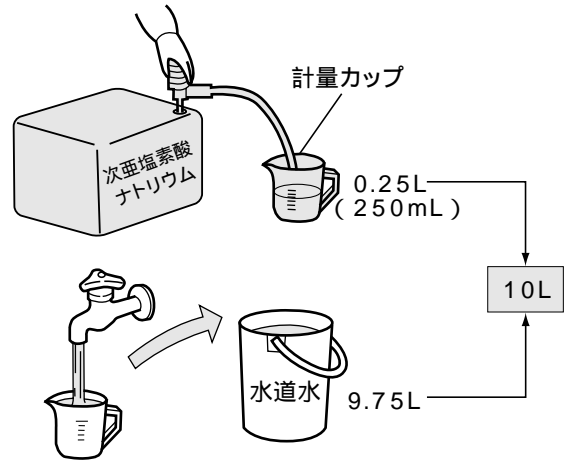
後日のため「据付メモ」(20ページ記載)に記入しておいてください。

3 薬液のうすめかた

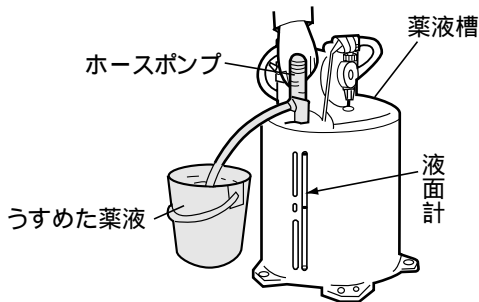
薬液をうすめる水は、鉄分を含まない水または水道水を使用してください。
うすめる際は計量カップを使用して、正確にうすめてください。
うすめ倍率から原液の量を決定し、原液と水道水で10Lになるようにします。



例 40倍にうすめる



4 薬液の補給



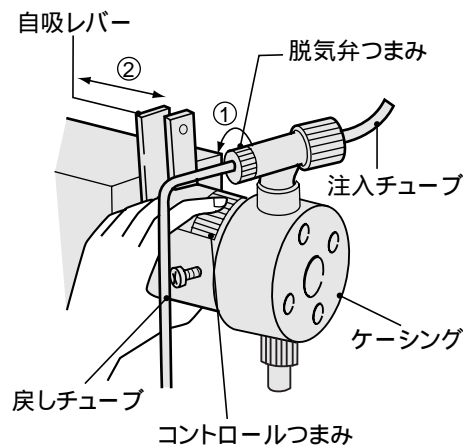
付属のホースポンプを使用して補給します。
20L補給する場合は「薬液のうすめかた」の手順に従って2回繰り返してください。

薬液槽が空の場合は、約20L入ります。

5 運転前の準備

据え付け後、運転の始めにケーシング内を薬液で満たしてください。

- ①脱気弁つまみを矢印方向に回し、ゆるめてください。
- ②自吸レバーを矢印の方向に動作させ、排気を行います。
排気が完了すると戻しチューブ内を薬液が流下します。
- ③排気が完了したら、脱気弁つまみを元に戻します。



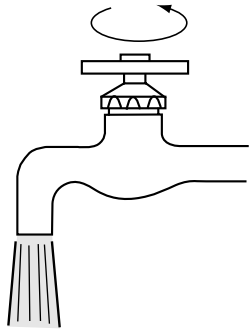
運転後でも、次のような場合にケーシング内が空となりますので同じ手順で操作してください。
薬液槽が空になってから薬液を補給した場合
使用しないで1か月以上放置した場合
エアロック（ケーシング内に気泡が発生付着）した場合

ご注意 操作後は、脱気弁つまみを確実に締めつけてください。

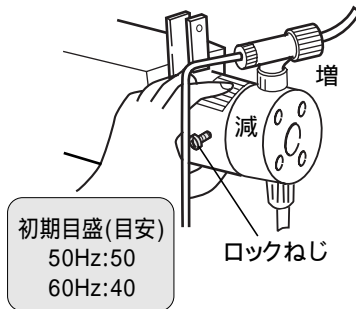
6 試運転とカルキ量の調整

蛇口でのカルキ量が0.4～0.7mg/Lの間になるように、コントロールつまみで調整します。
 (水量の変化が多い場合にはカルキ量の変動するので注意してください)

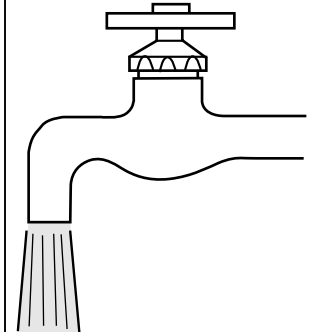
1 同時使用の可能性のある蛇口は、すべて全開にして水を流します。



2 ロックねじをゆるめコントロールつまみを回して調整します。

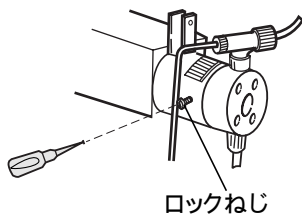


3 蛇口から5分以上水を放出させます。



4 で調整不十分の場合は 2 に戻り再調整してください。

5 ロックねじを回してコントロールつまみを固定します。



4 蛇口から水を採り、比色板の色と比較し、0.4～0.7mg/Lの範囲にカルキ量を調整します。(カルキ量が多いと濃い赤紫色、少ないと透明になります)

① 蛇口から採水します。	② 測定用錠剤を1個入れます。	③ キャップをして、錠剤が溶けるまでよく振ります。	④ 2分間放置してから比色します。

ご注意

- コントロールつまみの調整範囲でカルキ量が0.4～0.7mg/Lに調整できない場合は、うすめ倍率を変えてください。
- ロックねじがゆるんでいますと、運転中にコントロールつまみが動きますので確実に固定してください。また、締めつけすぎると薬注器が、ロックしますのでご注意ください。
- 調整直後は測定値が変動する場合がありますので、調整完了後5分以上水を流して、再度カルキ量を測定してください。
- 濃いうすめ倍率で少ない目盛に調整しますと、夏場などにエアロックしやすくなりますのでご注意ください。

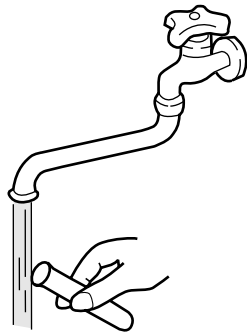
7 水質検査

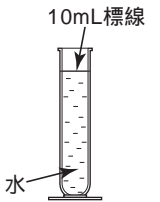
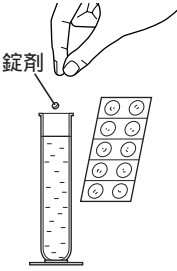
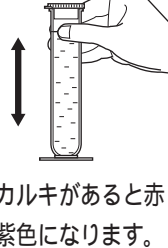
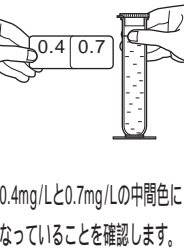
付属されているカルキ量測定器はあくまで簡易的に測定するものです。
最終確認として再度水質検査をしてください。

ご注意 井戸水の水質が変化する場合がありますので、定期的に水質検査をしてください。

8 毎朝使用前の確認

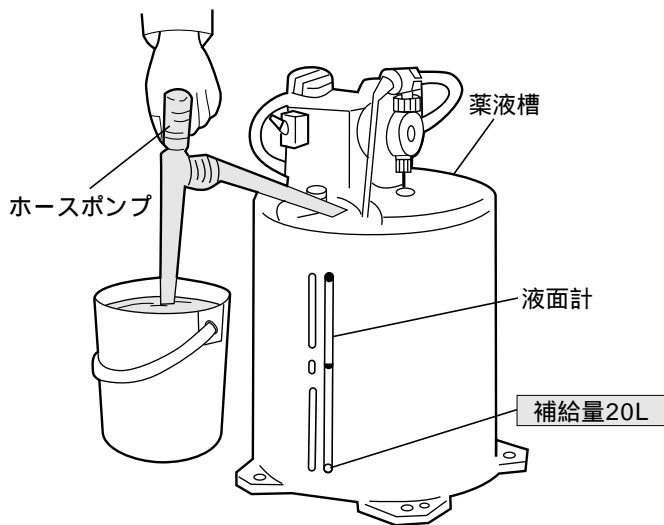
毎朝必ずカルキ量を測定します。



① 蛇口から採水します。	② 測定用錠剤を1個入れます。	③ キャップをして、錠剤が溶けるまでよく振ります。	④ 2分間放置してから比色します。
			

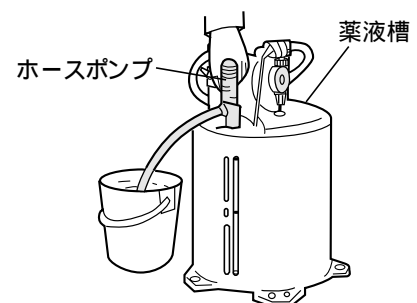
9 薬液の定期補給

「補給量20L」の位置になる前に薬液を定期的に補給します。



薬液槽内のお手入れ

薬液槽の底に酸化物が沈殿する場合がありますので、その際には付属のホースポンプを使用して、取り除いてください。



水質検査について

保健所に水質検査を依頼してください。
依頼する際は、次のことに注意してください。

1. 水質検査（化学試験・細菌試験）には、井戸原水と除菌器を通した処理水が必要です。
 2. 細菌試験をされる場合
 - ①細菌試験の採水容器は、保健所で除菌したものをご使用ください。
 - ②細菌が付着しないように、容器や栓の内側には手などを触れないでください。
 - ③容器が汚染されないように短時間で採水し、すぐに保健所へ依頼してください。
- その他、水質検査方法については、各地の保健所にご相談ください。

故障かな...と思ったら

症 状	点検するところ
除菌器が作動しない	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードがポンプの端子にきちんと接続されていますか。 (ポンプの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか)● 中間スイッチがONになっていますか。
カルキ臭がない	<ul style="list-style-type: none">● 薬液槽に薬液が入っていますか。● コントロールつまみの目盛り数字が小さくなっていませんか。 (ロックねじがゆるんでいませんか)● 薬液をうすめすぎていませんか。
カルキ臭が強すぎる	<ul style="list-style-type: none">● コントロールつまみの目盛り数字が大きくなっていませんか。 (ロックねじがゆるんでいませんか)● 薬液が濃すぎませんか。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

除菌器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

11ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	除菌器
形名	CS-20NS形
製造番号	4000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



長年ご使用の除菌器の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。
コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
運転中に異常な音や振動がする。
水漏れがする。(継ぎ手など)
焦げ臭い“におい”がする。
触るとビリビリと電気を感じる。
その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日 / 9:00 ~ 19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00 ~ 17:30 / 携帯電話、PHSからでもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

据付工事について(販売店様・工事店様用)

〔工事をされる方へお願い〕

製品機能が十分発揮できるように、この「据付工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。

据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 保健所に依頼して水質検査を行ってください。

鉄分(カナケ) マンガン分のある井戸水には除菌器は使用できません。

鉄分(カナケ)があると、蛇口から赤い水が出ることになります。

マンガン分があると、お湯を沸かしたとき茶褐色になります。

鉄分がある(ただし10mg/L以下)場合は、日立除鉄槽と組み合わせてご使用ください。

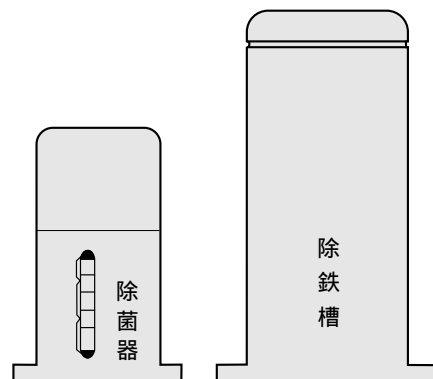
ご注意

井戸水の水質が変化する場合がありますので、定期的に水質検査を行ってください。

2 電源を確認してください。

接続するポンプの電源と合っているかどうか確認してください。

(16~18ページを参照し、結線を変えてください)



3 据え付け場所の確認

点検・修理のしやすい場所を選んでください。

4 組み合わせポンプの確認

少水量まで連続運転させるポンプ(J形以前のコンパクトポンプ、水中ポンプ)との組み合わせは絶対に行わないでください。

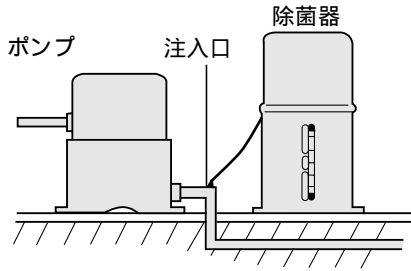
(カルキ量が大きく変動します)

S形ポンプ(PAMインバータ制御)との組み合わせは可能です。

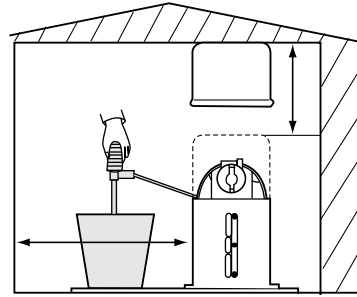
据え付け時のご注意

ポンプの吐出側配管に据え付けてください。

スペースを十分にとってください。



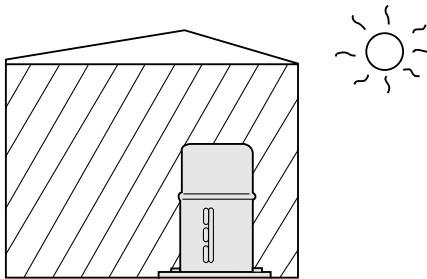
- 注入側チューブの長さは2mです。



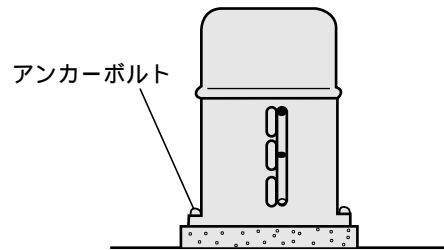
- 薬液の補給・点検修理が容易にできるスペースをとってください。

屋内または、日陰に据え付けてください。

水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定してください。

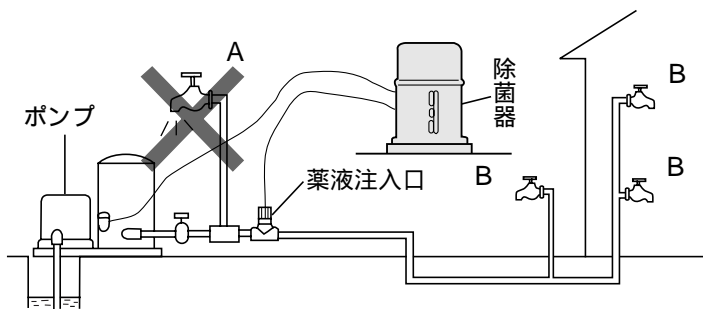


- 直射日光が当たらない場所に据え付けてください。(薬液濃度の低下を防ぎます)



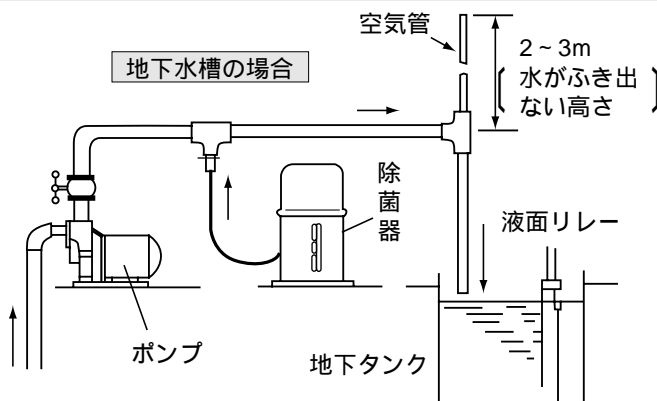
- 基礎は沈下を防ぐために、コンクリートでつくことをお勧めします。

ポンプと薬液注入口の間に蛇口を設けないでください。



蛇口Aを使用すると除菌器が動作して、薬液が配管内へ注入されるので、あとで蛇口Bを使用したときに異常にカルキ臭の強い水がでることになります。

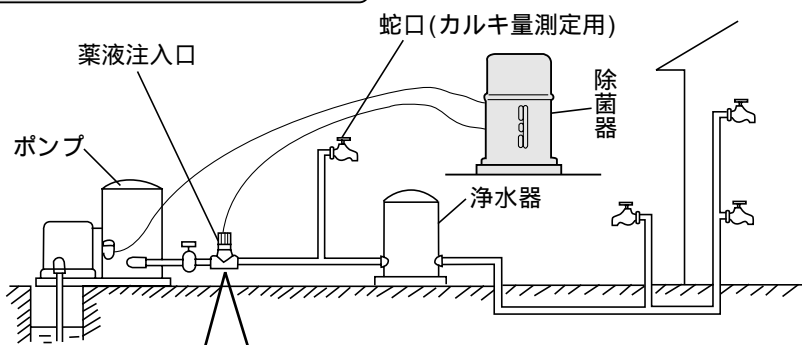
吐出管の先端にはサイフォン作用が働かないようにしてください。



吐出側にサイフォン作用が働くと、ポンプを運転させなくとも、負圧により薬液が注入されてしまいます。

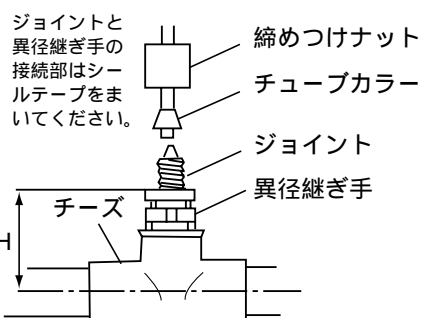
配管工事について

ポンプの配管との接続



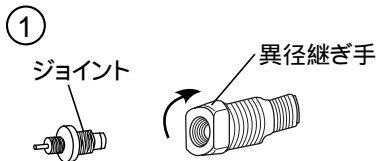
- 吐出管は硬質塩化ビニル管、またはポリエチレン管で配管してください。
- ポンプの吐出側には、必ず仕切弁を設けてください。
- ポンプの吐出側にチーズを使用して、除菌器のジョイントを確実に接続してください。
- ジョイントおよび異径継ぎ手は、シールテープを使用して確実に配管してください。
- 浄水器を併用する場合は、上図のように薬液注入口と浄水器の間に蛇口を設けてください。(カルキ量測定に必要です)

配管径が大きい場合 (ねじ径が $3/4$ Bまたは $1/2$ B)

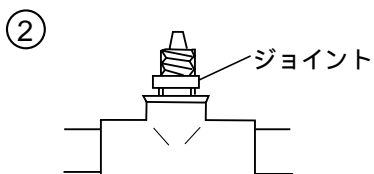


チーズとジョイントとの距離Hは最短としてください。長くなりますと抵抗により薬液が注入されない場合があります。

配管のねじ径が $3/8$ Bの場合

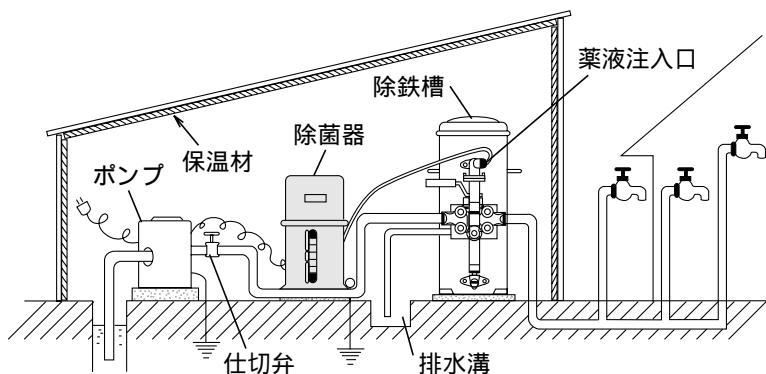


異径継ぎ手は不要です。ジョイントから取り外してください。



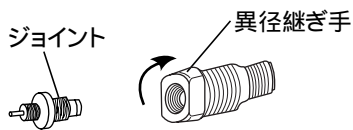
ジョイントは直接配管してください。

日立除鉄槽との接続



- ポンプと除鉄槽の間には、必ず仕切弁を設けてください。

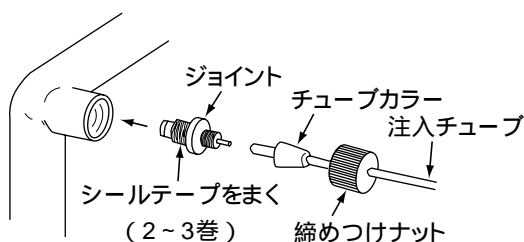
①



異径継ぎ手は不用です。ジョイントから取り外してください。

②

ジョイントは直接配管してください。



- ジョイントを除鉄槽の薬液注入口に接続してください。

配線工事について

⚠ 警告



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

1 アースと漏電遮断器を取り付けてください。

⚠ 警告



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

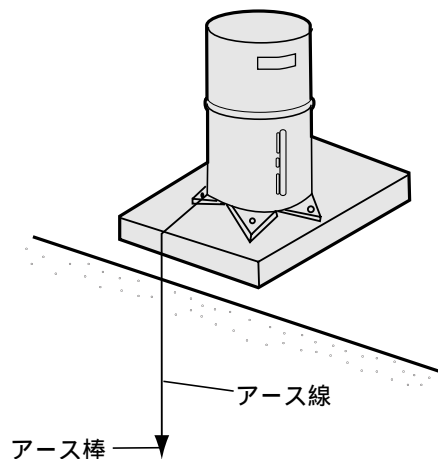
万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、必ず取り付けてください。(取り付けは有料です)
アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行います)が必要です。
工事の際は、必ずポンプの電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

- アース線の接続について
 - ・ D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
 - ・ 既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。(法令などで禁止)

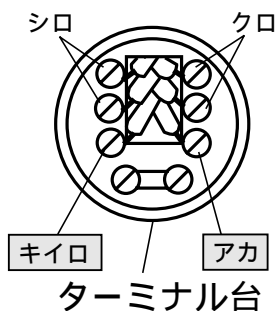
- ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)
- 漏電遮断器について
 - ① 漏電遮断器は▽または◇マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、電路の定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
 - ② 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。



2 ポンプとの結線のしかた

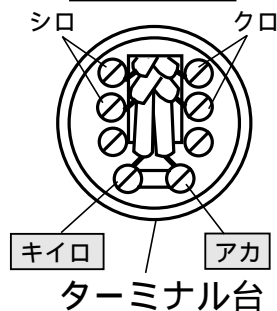
- 工場出荷時200V用回路になっていますので、単相100Vに使用する場合は、下図のようにターミナル台の配線を変えてください。

単相100Vの回路



200V用の回路

工場出荷時

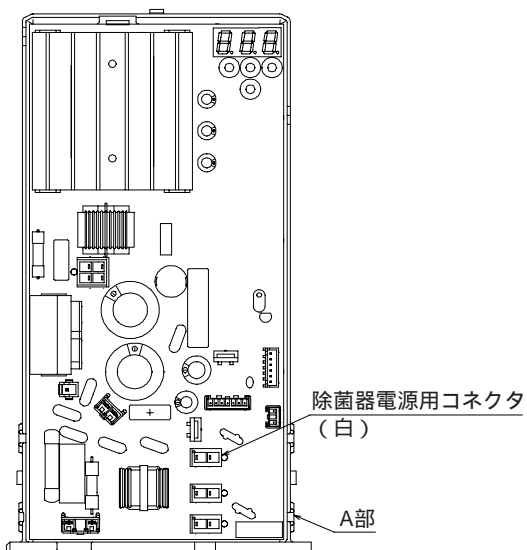


S形ポンプ(PAMインバータ制御)との結線

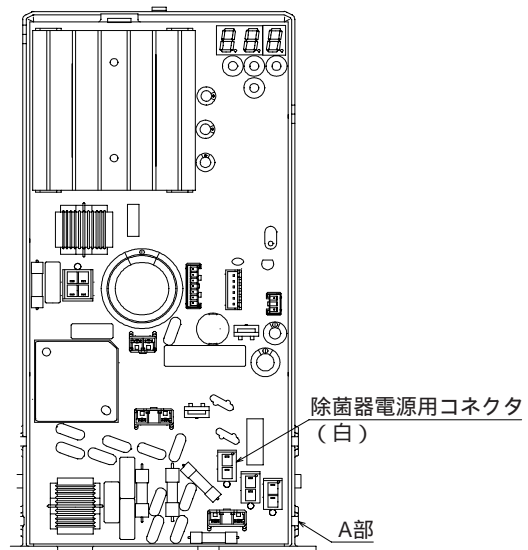
- ① ポンプの電源プラグを抜いてください。
- ② ポンプのコントローラカバーを外してください。
- ③ コントローラの「除菌器電源用コネクタ(白)」のコネクタキャップを抜き、除菌器の電源コネクタを接続してください。
- ④ 接続が終わりましたら、電源コードをコントローラのA部を通し、コントローラカバーを確実に取り付けてください。

ご注意 直接100Vまたは200Vの電源に接続しないでください。薬液が連続的に注入され、異常にカルキ臭が強い水が出ます。

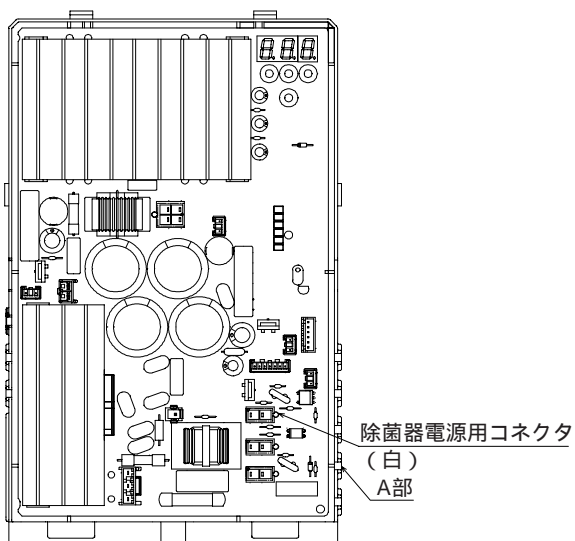
(例：WT-P200S)



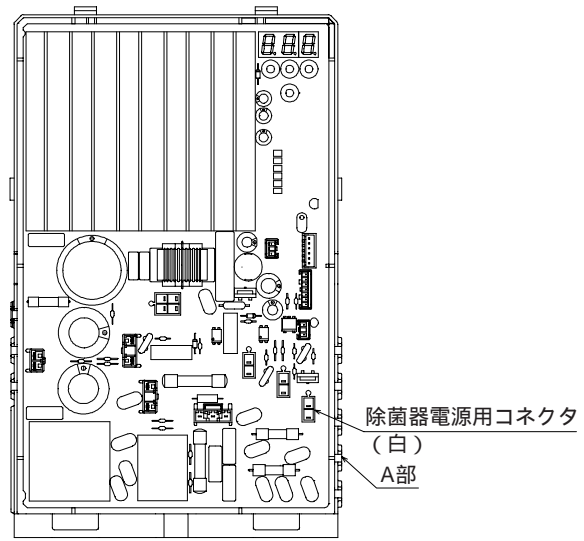
(例：WT-K200S)



(例：WT-P400S)



(例：WT-K750S)



J形以前ポンプとの結線

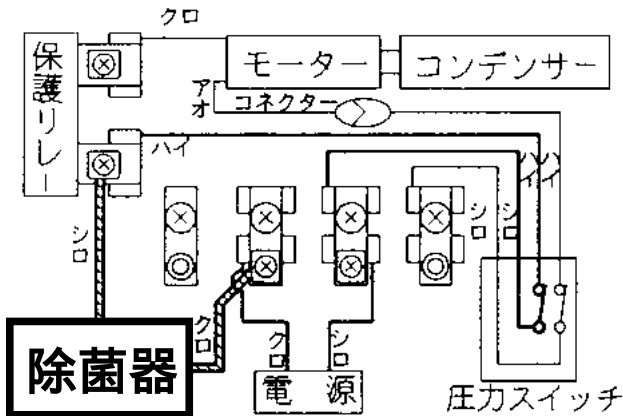
- ポンプの圧力スイッチの開閉により、除菌器とポンプが同時に運転するように圧力スイッチと直列に（モーターとは並列に）結線します。
- 結線する際は、下記パーツ部品を購入してください。詳細はパーツの説明書をご覧ください。

部品名	部品番号	数量
Jセツゾクタンシ(CS)	CS-20NS 005	1

ご注意 直接100Vまたは200Vの電源に接続しないでください。薬液が連続的に注入され、異常にカルキ臭が強い水が出ます。

単相(100V)ポンプ

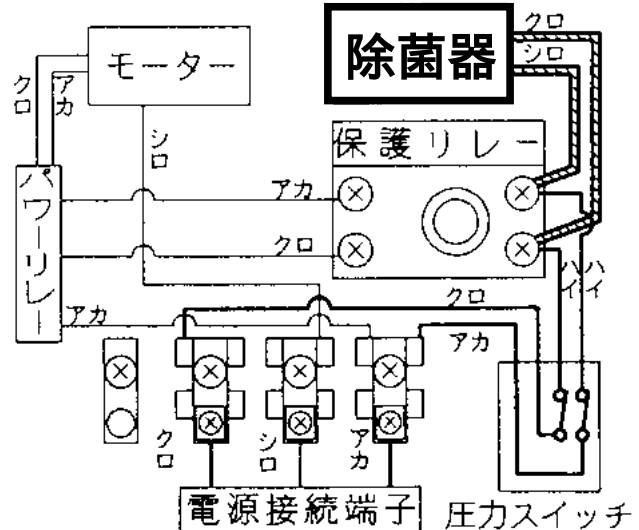
標準結線例



※ポンプの結線は一部省略してあります。

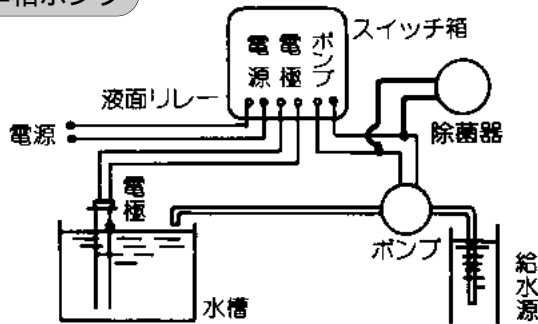
三相(200V)ポンプ

標準結線例

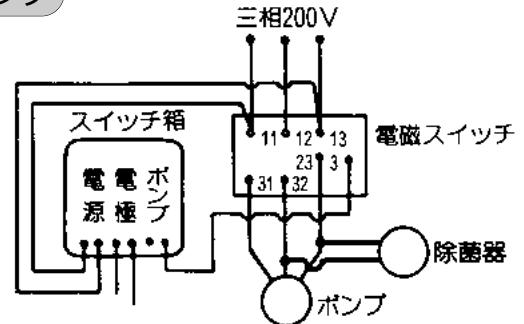


非自動式ポンプとの結線

単相ポンプ



三相ポンプ



運転について

1 試運転

「カルキ量の調整と日常管理について」(7~10ページ)の項を参照してください。

2 運転状態の確認

- S形ポンプ(PAMインバータ制御)と組み合わせた場合
ポンプの運転状態に応じて、除菌器は間欠運転をします(カルキ量が大きく変動するのを防ぐためです)、しばらく水を出して除菌器が運転を開始することを確認してください。
- J形以前のポンプと組み合わせた場合
異常なく運転を開始したら、蛇口を開閉しポンプと除菌器が同時に運転・停止しているか確認してください。
- 運転状態の確認後、配管からの漏れがないか確認してください。

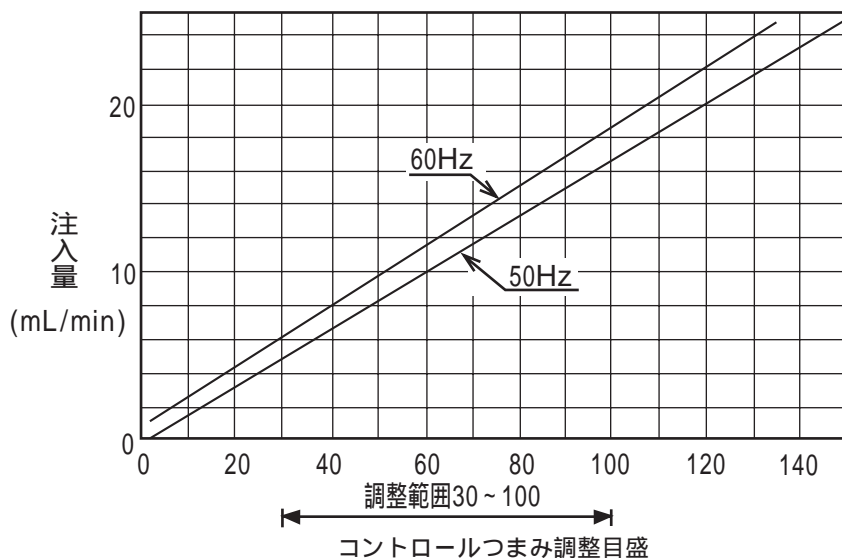
カルキ量調整・薬液の補給周期の技術資料

1 カルキ量の計算

- カルキ量の計算は次式で求められます。(次亜塩素酸ナトリウムの有効塩素5%)

$$p = \frac{50s}{Qn}$$

p : カルキ量 (mg/L)
s : 薬液注入量 (mL/min)
Q : ポンプ揚水量 (L/min)
n : 薬液のうすめ倍率



例えば、ポンプ揚水量が20L/min、
うすめ倍率40倍、コントロール
つまみ調整目盛を50(50Hzの場
合は8mL/min注入)に設定した
ときは、
$$p = \frac{50 \times 8}{20 \times 40} = 0.5(\text{mg/L})$$

となります。

ご注意 注入量は配管圧力によっても変化します。

2 薬液の補給周期

- 補給周期の計算は次式で求められます。(薬液20L使用)

$$N = \frac{20Q}{s \cdot T}$$

N : 補給周期 (日)
s : 薬液注入量 (mL/min)
Q : ポンプ揚水量 (L/min)
T : 1日の総使用水量 (m³) = 0.25m³ × 家族人員

1日の総使用水量は、1日1人0.25m³使用する
として、計算します。

例えば、ポンプ揚水量20L/minで、コントロールつまみの調整目盛を50(50Hzの場合
8mL/min注入)に設定した状態で、4人家族で使用した場合は、

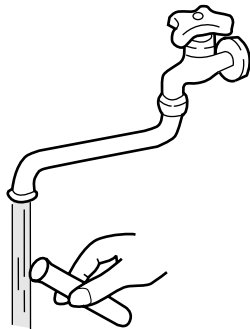
$$N = \frac{20 \times 20}{8 \times (0.25 \times 4)} = 50 \text{日}$$

となります。

ご注意 カルキ量および補給周期についてはあくまで目安です。

ご使用者様へのご説明

カルキ量の調整 および 薬液の定期補給 は特によく説明してください。
毎朝、必ずカルキ量を測定することを指導してください。



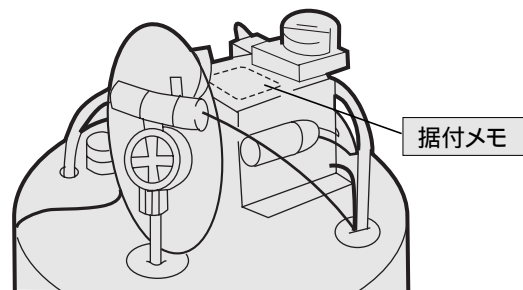
① 蛇口から採水します。	② 測定用錠剤を1個入れます。	③ キャップをして、錠剤が溶けるまでよく振ります。	④ 2分間放置してから比色します。
<p>10mL 標線 水</p>	<p>錠剤</p>	<p>カルキがあると赤紫色になります。</p>	<p>0.4 0.7 0.4mg/Lと0.7mg/Lの中間色になっていることを確認します。</p>

錠剤がなくなりましたら、別売部品(カルキ量測定器：WJ-S)を購入していただくようご指導ください。

据付メモ

据 付 メ モ	
据 え 付 け 日	年 月 日
ポ ン プ の 形 名	
ポ ン プ の 揚 水 量	L/min
つ ま み 目 盛	
う す め 倍 率	倍
残 留 塩 素 (カルキ量)	mg/L
補 給 周 期	日に1回
販売店名	
TEL. ()	

据付メモ(シール)は同封してありますので、後日のメンテナンスを容易にするために、空欄にボールペンなどで記入のうえ、製品本体にはり付けてください。



シールに記入した内容を左表に転記して、お客様にお渡しください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

平成

年

月

日

◎ 日立 ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話(03)3502-2111